

日時

2025年2月10日(月)

13時～16時30分 受付開始12:30～

開催場所・方法

大本山増上寺 光摶殿 講堂

(Zoomウェビナー併用)

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-35

対象

浄土宗教師・寺族 ほか

申込締切日

2025年2月3日(月)

墓じまいを考える

第49回浄土宗総合研究所シンポジウム



参加費用
無料

コーディネーター
浄土宗総合研究所
名和清隆

基調講演 40分



井上 治代 氏

元・東洋大学教授、
NPO法人エンディングセンター理事長
『墓と家族の変容』(岩波書店、2003)ほか

なぜ今、墓じまいなのか?

高度成長期を契機とした社会変動、また一時の「寿陵ブーム」や近年の樹木葬ブームを含め、現代までの墓を取り巻く動向をまとめ、現在なぜ「墓じまい」が増えているのか、また今後の展望について語る。

パネリスト発表 60分

① 過疎地域における墓じまい

西村昭仁上人
(石見教区長福寺住職・石見教区宗議会議員)

② 都市部における墓じまいの現状と新たな墓の動向

鎌倉新書担当者

③ 墓じまいに伴う諸問題
法律的視点から

齊藤善隆上人
(弁護士、長野教区天然寺副住職)

④ 墓じまいの功罪
-弔いの喪失がもたらすもの-

鶴飼秀徳上人
(ジャーナリスト、京都教区正覚寺住職)



アクセス

- JR線・東京モハール 浜松町駅から徒歩10分
- 都営地下鉄三田線 御成門駅から徒歩3分、芝公園から徒歩3分
- 都営地下鉄浅草線・大江戸線 大門駅から徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅から徒歩7分
- 東京メトロ日比谷線 神谷町駅から徒歩10分

お申し込み方法

申し込みフォーム

<https://jsri.jodo.or.jp>

浄土宗総合研究所ホームページ掲載の申し込みフォームよりお申し込みください。申し込みフォームは、右の二次元バーコードからも開くことができます。



お問合わせ先



浄土宗総合研究所
JODO SHU RESEARCH INSTITUTE

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館内4階
TEL:03-5472-6571(代) FAX:03-3438-4033

浄土宗総合研究所シンポジウム

「墓じまい」を考える

趣 旨

「墓じまい」が現在、一つの流行語のように扱われている。墓じまいは「信仰の希薄化」という一言では片付けることの出来ないものであり、人口移動や家族の在り方の変化という、大きな社会変動により生じた現象である。過疎地域だけでなく都市部でも、多くの地域において墓じまいはもはや避けることができない。寺院においては檀家減少に直結するため、まさに仏教界全体が大きな転換期を迎えていたと言えよう。本シンポジウムでは、なぜ「墓じまい」が急激に増加したのかについて社会学的に捉えたうえで、墓じまいに伴い生じる諸問題に対して「我々はどうすべきか」について考えていく。

浄土宗総合研究所 第49回シンポジウム

出演者紹介

コーディネーター

名和 清隆 上人

浄土宗総合研究所

浄土宗総合研究所研究員、「次世代継承に関する研究班」の主務を務めている。淑徳大学、大正大学非常勤講師。



基調講演

井上 治代 氏

社会学博士

東洋大学教授を経て、東洋大学「現代社会総合研究所」客員研究員、エンディングデザイン研究所代表。研究成果を実践する場として認定NPO法人エンディングセンターの活動を続ける。継承者不要の樹木葬や、死後事務委任などサポートネットワークの構築に力を注いでいる。『墓と家族の変容』(岩波書店)ほか著書多数。



パネリスト①

西村昭仁 上人

石見教区長福寺住職・石見教区宗議会議員

長福寺第24世住職(1996年就任)。石見教区浄土宗青年会会长(1998~2006年)、石見教区教化団团长(2018年~)を経て、2021年12月より浄土宗宗議会議員を務めている。



パネリスト②

鎌倉新書 赤羽 真聰 氏

常務執行役員付

株式会社ハウスポートクラブ 代表取締役社長

鎌倉新書は、日本最大級のお墓の情報サイト「いいお墓」を運営し、葬儀や墓、相続に関する業務を広く展開。墓じまい業務も行っている。2024年1月に同サイトで「第3回 改葬・墓じまいに関する実態調査(2024年)」を実施した。



パネリスト③

齊藤善隆 上人

弁護士、長野教区天然寺副住職

2019年司法試験合格。2021年弁護士登録。自坊である長野教区天然寺に「天然寺法律事務所」を開設し弁護士としての活動を展開。長野県弁護士会 消費者問題対策委員会委員、日本弁護士連合会 刑事弁護センター委員などを歴任。現在は、長野県弁護士会 憲法問題プロジェクトチーム委員などを務めている。



パネリスト④

鶴飼秀徳 上人

ジャーナリスト、京都教区正覚寺住職

新聞・雑誌記者を経て2018年に独立。オウム真理教事件、北方領土など多くの取材現場に足を運ぶ。著書に『寺院消滅』『仏教抹殺』『仏教の大東亜戦争』など。正覚寺(京都・嵯峨)住職。大正大学招聘教授。(一社)良いお寺研究会代表理事。



浄土宗総合研究所
JODO SHU RESEARCH INSTITUTE